



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 折茂 謙一
- 幹事 米澤 久二
- 会報委員長 脇本 敏雄



「湖畔雪景色」 脚手 康介

<会長の時間>

昭和 51 年 8 月病院を退職して独立することに決めました。私が 38 歳の時です。

決めたその日にある銀行をたずねました。窓口で医院を開設したいので融資をうけた



いと伝えると別室に通されました。今までの医者としての経歴や病院では大勢の患者さんに頼りにされていることなど話すと融資担当者も大変乗り気になっていましたが、土地はまだ決まてない、担保はない、貯金はあまりない、と話したとたん一瞬ぎょっとされたようでした。事業立ち上げのイロハも分からず雲をつかむような融資の相談に担当者もびびくりしたと思います。まず土地を決めてください、それと事業計画書を作成してください、ただし担保がなければ融資はできません、とあっさり話を打ち切られました。私としては銀行が土地を探し、事業計画も立ててくれると思込んでいたので、かなり落ち込みました。典型的な専門バカ医者バカだったわけです。自宅に戻り融資は断られたことを妻に話しました。担保物件はないし、身内に資産家ははいないし、今の状況では独立するのは無理かもしれないとあきらめそうになりました。

資金がなくても何とかなる方法として貸し医院を思いつきましたが、高山市内にはありませんでした。全国的に手を広げて貸し医院を探してみました。確かに貸し医院の広告がありました。愛知県とか静岡にまで出かけましたが、貸し医院は古くてあまりにみすばらしく、その上敷金とか家賃がべらぼうに高くて全然諦めになります。

仕方がないので空き家を探すことにしました。私自身は病院以外の人との交流関係がありませんでしたが、妻は高山で知り合った人や近所の人達と幅広くネットワークを作っていましたので、その旨を頼みました。なぜか不動産屋さんには頼みませんでした。それでもよさそうな物件がいくつか見つかりましたので、名古屋で開業している同級生に頼んで、客観的な立場から観てもらったところ、君が住むにはよいかもしいが、開業という面からは全然だめだといわれ、開業の立地条件について指導してもらいました。これは、という物件があっても担保も敷金もないのですから、話が進みません。

年が明けて雪が解けても、全然独立のめどが立ちません。『わ

しに金があればまんと病院をたててやれるのになあ』という人もいたので、はた目から見て相当に弱っていたのではないのでしょうか。私自身はもうお手上げ状態でしたが、私の独立への想いは周りの人たちに少しずつ浸透していたようです。52年の4月になって、妻のネットワークから自分の家を貸してもいいという人がいるという情報が入りました。～続きは来週の会長の時間で～

<幹事報告>

◎台北東海ロータリークラブより

- ・創立 18 周年記念式典へのご招待

日時 4 月 26 日(金)

受付 17:30~開始 18:00~

会場 ウェスティン台北



◎高山市スポーツ少年団より

- ・平成 24 年度高山市スポーツ少年団大会について(御礼)

◎光記念館より

- ・開館 15 年記念特別展のご案内および招待券・優待券

「横山大観と日本美術院の画家たち」

期日 2 月 27 日(水)~6 月 4 日(火)

<受贈誌>

- 一般財団法人比国育英会バギオ基金(バギオだより 35)、
- 東日観光(株)(2013 リスボン R I 年次大会参加募集案内)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	36 名	2 名	38 名	51 名	74.51%
本日	43 名	—	43 名	52 名	82.69%

奉仕を通じて平和を

例会報告

<本日のプログラム> お祝い

◎会員誕生日



堀川 和士 3. 12



河尻 浩次 3. 25



道脇 清春 3. 10

◎夫人誕生日

小林 勝一 高子 さん 3. 4

◎結婚記念日

野戸 守 S36. 3. 15

小林 勝一 S43. 3. 30

阪下 六代 S49. 3. 9

山下 明 S50. 3. 23

河尻 浩次 S62. 3. 15

◎出席表彰



大村 貴之 1年



塚本 直人 1年

◎在籍周年記念表彰

折茂 謙一
15年



◎3ヶ月表彰

- ・大村 貴之
- ・小田 博司
- ・小林 勝一
- ・堺 和信
- ・下屋勝比古
- ・塚本 直人
- ・新田 敬義
- ・平 義孝

新会員入会

田中 晶洋 さん
ブライタスタフ(株)
代表取締役



青少年育成委員会 義務教育9カ年皆出席表彰

委員長 道脇 清春

こんにちは！

本日は青少年育成委員会事業として22年目になります、義務教育9カ年皆出席表彰を行います。合併以前は該当生徒さんにお越しいただき直接表彰をしていましたが、合併後からは各学校に於いて終業式の場などで表彰をして頂いています。

本年度は26名の生徒さんが皆出席を達成されました。ここでお名前を読み上げます。(敬称略)

- 国府中学校・・・2名 山下 怜矢、西村 比奈
- 北稜中学校・・・1名 愛知 文典
- 朝日中学校・・・1名 長瀬 華穂
- 久々野中学校・・・2名 中島 龍之介、和仁 昌輝
- 宮中学校・・・1名 横山 恵里
- 東山中学校・・・2名 奥田 詩帆、松葉 優佳
- 松倉中学校・・・4名 竹腰 裕介、保木口 銀太、坂下 瑞希、荒畑 健斗
- 日枝中学校・・・6名 浅野 真理、中田 理瑚、新井 亮摩、清水 香帆、下屋 祐喜、森下 紗梨菜
- 中山中学校・・・7名 近藤 桃佳、土洞 香澄、平田 亜弓、宮川 頌健、新井 皓子、大倉 準之輔、垣根 安未

以上の皆さんです。

本日は代表生徒さんの分のみ校長会の中学代表、宮中の上野校長先生に代理授与させていただきます。



(残りの生徒さん分については、副会長・幹事・私の3名にて、4日の宮の教育研究所で行われる高山市校長会に向きまして、お渡しして参りました。)

では、本日ご講話を頂きます、上野校長先生をご紹介します。お名前は、上野博隆(ウエノヒロタカ)さん、昭和27年生まれ、この恩年60歳であと1ヶ月で御定年を迎えられます。出身は高山市上宝町蔵柱で現在高山市西之一色町にご住所をお持ちです。では、上野先生、宜しくお願いします。

奉仕を通じて平和を

例会報告



高山市中学校長 会長 宮中学校長 上野 博隆 先生

今日は県立高等学校の卒業式が行われまして、私も先ほどまで飛騨特別支援学校高等部の卒業式に出席して参りました。それぞれが個別の障がいを抱えておられる生徒さんの巣立っていく式ですので、通常の高校の卒業式とは違うものがあります。喜びだけでは決してなく、むしろ不安やとまどいが入り交じっている様子を感じました。しかし、一人一人を本当に大切にされている事が伝わってきました、健常者がほとんどの私たちの学校でも見習わねばならないと感じた次第です。

さて、高山市内の中学生とは言いますと、卒業式もありますが、公立高校入試が彼らにとっては今の最大関心事であるはずで、今年度から新しい入試制度に変わりましたので、より一層真剣に取り組んでいるべき時なのです。ところが、高山市や飛騨地区の中学生の進学に対する関心や、自分の将来のキャリア構想に基づく高校選択は、甘いと言わざるを得ない状況です。理由を考えると、

①高等学校の募集定員が地区の中学3年生の数とほぼ同じである事。例えば、「東京都」1.51倍「大阪府」2.19倍に比べて、岐阜県は「1.03倍」。飛騨地区に限って言えば「0.93倍」。私立高校が1校とか普通科高校の数といった問題も絡んでいる事は事実ですが、まさに「贅沢を言わなければ入れる高校はある。」のです。

②義務教育でもないのに高校進学が当たり前といった風潮がある事。保護者と話していても「高校ぐらいは・・・」「どこでも良いので、高校だけは・・・」などの言葉が出てきます。高校への進学卒がほぼ100%というのは、ある意味とても好ましいことではありますが、義務教育ではないのですから、「我が道を行く」独自の進路選択をする生徒があっても然るべきだと思いますし、それを後押しする保護者があって然るべきではないでしょうか。

お手元に配布させていただいた宮中の「学校だより」の旧宮村村長の「はなむけの言葉」の時代と比べたら、今の子どもたちがいかに「自分が恵まれているか」に自ら気づき、同時に保護者にも「親として我が子の将来に責任を持つ」姿勢で、ともに高校進学に向かっていって欲しいと思っています。目的を持って進学する高校を選び、そこで一生懸命勉強すべきです。そしてきちんと卒業し、さらなる進路を切り開くべきだと思います。

飛騨地区で約1学級分(40名)程度の途中退学者が出ている現状があります。中高の校長も合同会議等を持って、その対応策を協議しているところではありますが、まだまだ時間がか

かると思われます。学校関係者だけでなく、本日ご参集の皆様方企業や地域の関係者の方々と一緒に考えさせていただきたいと思っております。

<ニコニコボックス>

●折茂 謙一さん

①本日は高山市中学校長会長 宮中学校長 上野 博隆 様よろしくお祈りします。

②新会員 田中 晶洋さん、高山西ロータリーへの入会ありがとうございました。

●米澤 久二さん

義務教員9カ年皆出席の26名様、おめでとうございます。宮中学校の上野博隆先生、本日はよろしくお祈りします。

●河渡 正暁さん

・上野博隆校長先生、本日はようこそおいで下さいました。本日の教育講話を楽しみにしております。

・先月のご長男のご結婚おめでとうございました。私の次男 恒延が出席させていただき、大変素晴らしい披露宴であったと聞いております。これからもお付き合いをよろしくお祈りします。

●田中 晶洋さん

今月から高山西ロータリークラブに入れて頂く事となり、色々な方々との出会いに期待の気持ちでいっぱいです。どうぞよろしくお祈りいたします。

●塚本 直人さん

今月より田中晶洋さんが高山西ロータリークラブの仲間になりました。同級生として心強く、そして嬉しく思います。S42生まれの我々をよろしくお祈りします。

●大村 貴之さん

田中晶洋さんの入会を歓迎します。共に若きメンバーとして頑張りましょう。

●滝野 幸泰さん、山藏 真輔さん、井上 正さん、小瀬 真之介さん

田中晶洋さんの入会を心より歓迎申し上げます。これから共に活動出来る事を楽しみにしています。また、昨日はオリエンテーションを開催いただきありがとうございました。これからもご指導賜ります様お祈り申し上げます。

●阪下 六代さん

ようやく弥生3月。春一番の嬉しいニュース。田中晶洋さんのご入会を大歓迎いたします。

●内田 幸洋さん

本日、飛騨高山高校の卒業式に来賓として出席して来ました。卒業生の父母への感謝の言葉に涙しました

●垂井 政機さん

アニメ「氷菓」のイベント高山のひなまつりが4月3日に催されます。一之宮の神社に3,000人とも5,000人ともいわれる人数が来高するらしいです。

●鍋島 勝雄さん

1週間苦しみました。結石が出ました。昨日ロータリー情報委員会に出席させていただき、お茶をガブ飲みしたのが良かったと思ひ、会長を始め出席者の皆さんに感謝します。

●挾土 貞吉さん

甥っ子秀平が頑張っておりますので。

●寺田 昌平さん

本日は陵王臺組代で日枝神社例大祭準加役として屋臺組神輿組屋臺引揃神輿組の抽籤籤祭のため欠席します。少しだけ!!